

それぞれのキャリアレインボーを描こう! ~can x will x mustの交点で

永合由美子 (東京大学大学院工学系研究科広報室 学術支援専門職員)

仕事の内容とやりがい

<自分の価値観を大切に!>「人の笑顔が見たい!」を大切に、その時々の場でできることに精一杯努めてきました。日用品メーカー勤務の24年、最初の18年間は研究開発に従事、新しい機能や製法の発見・用途開発を進める中、技術を展開してお客様に役立つ製品づくりを目指しました。衣料用洗剤「部屋干しトップ」の開発では、その魅力を伝える仕事の面白さにも出会い、その後の生活者研究や商品企画などのマーケティング関連の仕事での展開に繋がりました。縁あって大学の広報に関わる今、最先端研究の面白さや魅力を伝え、次世代の活性化に役立ちたいと、毎日を過ごしています。

進路決定のきっかけ

<ワクワクを求め続けて>研究室では、提示されたテーマ以外を手掛けたいと教授に願い、環境問題テーマに取り組みました。就職にあたっては、研究の成果を肌で感じられる「お客様相手の企業」として、日用品メーカーを選びました。社内では、基礎研究やプロセス開発の仕事も与えられましたが、子育てが一段落した時期、商品開発部門への異動希望を出し、「お客様にダイレクトに繋がる」仕事にチェンジ。そして、人生の残りを考えた時、新たなチャレンジがしたいとの想いを強め、退職してキャリアカウンセラーの学校に通い、今に至っています。自分が『ワクワクできる』分野を求め続けてきた気がしています。

仕事と生活のバランス

<今の虹(キャリアレインボー)はどんな色?>人生・キャリアを虹に例えたスーパーという学者がいます。ライフステージによって、「娘」「妻」「母」「仕事人」「自分」それぞれの自分の役割の幅は変化しながら、虹をつくると考えます。2人の子供を抱えた技術者としての10年は、主に「母」として、でも「仕事人」の色も絶やさず、その後は「仕事人」の色が濃くなり、今は「娘」「市民」「自分」等のバランスをとって働き続けている私。“頼み上手”は、どの年代でも、自分の目的達成のためには大事なことです。同居の義母、夫とのチームワークももうじき25年になります。

進路選択に対するメッセージ

<Canをのぼす、Willをさぐる、Mustを感じて>「やりたい事や夢」何だろうと実は今も模索中。でも、基本は、どんな事が「うれしい」「ワクワクする」事に尽きるかも。Willを探りつつ、Can(できること)をのぼす。周囲のMust(必要性)を感じ取りながら。その交点は、Happyの確率が高いはず。「理系アタマ」×「女性の感性」は、一生の宝物です。ものづくりの原点がわかるからこそ、魅力的な商品開発・企画もできる、Mustも強い分野。後悔しないように、必要な時には過去を断ち切って道を切り拓く勇氣も持つてほしい。若い皆さんを心から応援しています。



<永合由美子(なごうゆみこ)プロフィール>

1980年立教女学院高等学校卒業、1984年東京大学工学部化学工学科卒業、1986年東京大学工学系化学工学専門課程(修士)修了。同年、ライオン株式会社入社。プロセスや素材開発研究部門在籍中に2人の子供を出産。ファブリックケア研究所での10年間に「プレケアシリーズ」「部屋干しトップ」を開発。2004年以降、市場調査・商品企画部門担当。2010年より、東京大学大学院工学系研究科広報室勤務。2012年現在、化学工学会男女共同参画・夢化学委員、日本女性技術者フォーラム運営委員、NPOアフタースクールズスペシャルコーディネーター、キャリアカウンセラー。